

第4章 戦略プロジェクト

小国町総合戦略において、町民の意向を踏まえながら重点的に取り組むべき施策を戦略プロジェクトとして設定し、集中して展開することにより、基本方針と基本的な方向の実現と人口ビジョンに掲げた政策効果の発揮を目指します。

戦略プロジェクト【1】若い世代のしごとづくりと子育て支援の充実

小国町内で仕事ができる環境づくりに向け、既存産業の支援をはじめ、新たな産業づくりへの取り組みを図る一方、新規就農支援や創業支援、新しいワークスタイルへの対応に加え、小国町で雇用促進や仕事の確保のために提供できる環境を積極的に発信していきます。また、若い世代の定着を図るには、教育環境の整備を含めた子育て支援の充実が欠かせないことから、子育て相談や子育て事業の推進、負担軽減等の子育てサービスの取り組みのほか、SNSを活用した情報発信、子育て家庭向けの住宅支援等新たな施策を展開し、子育ての環境づくりの強化を図ります。さらには、小国町における教育振興の中核、特に児童生徒の学力向上のシステムとして、地域住民が核となる白い森学習支援センター取り組みを充実させ、小中高一貫教育とあわせて特色のある教育の推進に努めます。

【重点的な取り組み】

- 小国町の自然環境、地域資源に基づいた活動を目指す企業・研究所等への情報発信
- 起業・創業支援の充実
 - ①相談
 - ②助成金
 - ③斡旋
- 多様な働き方を進めるための調査の推進
- パッケージ型新規就農支援システムの構築¹⁾
 - ①住宅確保
 - ②営農指導
 - ③農地・農機具貸与
 - ④農業以外の収入確保策
- 再生可能エネルギーを活かした農村ビジネスモデルづくりの推進
- 「白い森の国おぐに」ブランドの構築推進
- SNSを活用した子育て情報の発信²⁾
- 保育施設の整備と子育て家庭向け住宅支援の推進
- 高校生までの医療費無料化
- 学校給食費負担軽減策の構築[再掲]
- 白い森学習支援センターの活動充実

戦略プロジェクト【2】移住・交流促進プログラムの推進

小国町への移住交流を促進していくため、移住相談員の設置、移住セミナーの開催、お試し居住の実施、住宅の斡旋・紹介など一体化した取り組みを図るとともに、特に子育て世代に対する多様な支援策や若者を対象としたパッケージ型新規就農支援システム、創業支援、多様な働き方の提案等を含めた施策を促進プログラムとして位置づけ展開していきます。あわせて、Uターンや「孫ターン」等小国町に関係する人々の移住定住に向けて、その情報発信の強化に加え、首都圏等における関係者の組織化を図ります。

【重点的な取り組み】

- 移住交流プログラムの一体的な取り組み推進³⁾
 - ①移住相談員の設置
 - ②移住セミナーの開催
 - ③お試し居住の実施
 - ④住宅の斡旋・紹介
- インバウンド事業の促進
- 孫ターンの促進
- パッケージ型新規就農支援システムの構築[再掲]
- 起業・創業支援の充実(相談、助成金、斡旋)[再掲]
- 多様な働き方を進めるための調査の推進[再掲]
- 首都圏等における小国町出身者(関係者)の新たな組織化
- 小国高等学校魅力化プロジェクトの推進
 - ①林業科やコミュニティビジネス科等学科新設の提案・要望
 - ②新たな奨学金制度の創設等

戦略プロジェクト【3】多様な主体による協働・交流・連携のまちづくりの展開

小国町では、外部の人財等多様な人々が地域づくり、まちづくりに関わることにより、様々な動きやつながりに結びつけ協働・連携・交流を促進させることで課題や困難に対応していく姿勢が重要であるととらえています。そのため、「緑のふるさと協力隊」や「地域おこし協力隊」の受け入れ、大学機関等との連携等これまでの施策を進めると同時に、複合的な機能をあわせ持ち、こうした地域づくり、まちづくりの核となる仕組み「山の暮らし伝承創造機構(仮称)」の創設を早急に推進し、より一層充実した取り組みを図ります。一方で、地域の住民が自ら地域づくりに取り組むことが土台となることから、主体的な地域づくりに対する支援を充実させ、基本構想に示した6つの地域づくり基盤に基づく展開を図りながら、この機構を中心に多様な人々が小国町で活動し、また機構の重要な役割であるネイチャリングタウン構想(自然学習活動)の展開による

人財育成が進むことで、さらなる魅力づくりへと発展し、小国町の若い世代が仮に一度町外に出たとしてもまた小国町に戻りたいと思う、夢のあるまちづくりの展開につなげていくこととします。

【重点的な取り組み】

- ネイチャリングタウン構想の推進(自然学習活動の促進)
- 地域づくり計画策定支援⁴⁾
- 6つの地域づくり基盤による地域づくりの展開
- 「地域おこし協力隊」の受け入れ推進
- 大学生サークルとの連携強化による地域づくり事業の展開
- 新たな地域づくり交付金の創設
- 「小さな拠点」づくりの推進と交流拠点施設の改修
- 「山の暮らし伝承創造機構(仮称)」の創設と活動の推進
- 「山の暮らし伝承創造センター(仮称)」(新総合センター)の整備推進
- 道の駅機能の拡充[再掲]

◆6つの地域づくり基盤◆



総合戦略策定メモ

*小国町地域創生総合戦略策定懇話会で提案された取り組み～

- 1) 農業だけでなく多様な就業形態を提案しながら新規就農者を確保(雇用創出部会) ----- p29
- 2) 双方向による情報発信、情報共有(結婚・出産・子育て部会)----- p29
- 3) Iターン者への支援の充実(人の流れ創造部会、結婚・出産・子育て部会、地域創造・暮らし安心部会)
----- p30
- 4) 地域が自ら地域をデザインし地域の未来図を描く取り組み(地域創造・暮らし安心部会) --- p31